

ナシにおける防蛾灯の効果

防蛾灯は省力的に設置でき、果実吸蛾類（吸汁性夜蛾類）の被害を軽減できる。

1. ナシを加害する主な吸蛾類と被害



2. 防蛾灯のコスト

設置費用（1基あたり）

機材	価格
黄色グローブ球	37,800円
高圧ナトリウムランプ※	11,664円
安定器	11,340円
その他（支柱、自動点滅器など）	15,203円
合計	75,847円

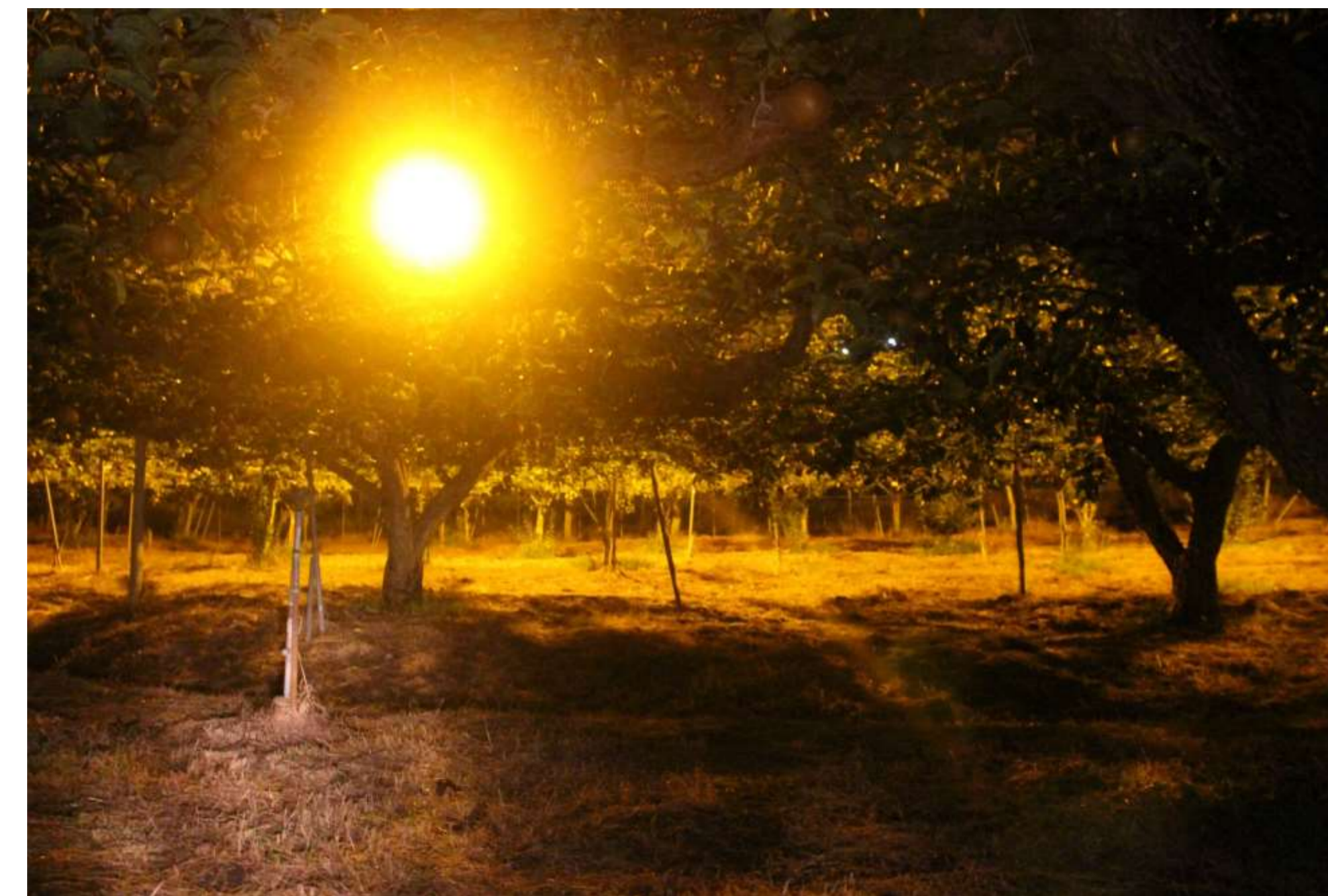
※光源寿命約24,000時間、1基で20aをカバーできる。

電気代（1基、1シーズン）

約5円（1h）×1日10時間×90日間=約4,500円

3. 防蛾灯の設置と効果

防蛾灯設置の様子



果樹研究センターナシほ場20aに2基の防蛾灯を設置し、その効果を実証した。
（設置期間：2018年7～9月の3か月間）

実証試験の結果（2018年）

品種名	被害果率（%）	備考
幸水	5.8	収穫日：8月10日 調査規模：8樹、566果
豊水	3.4	収穫期間：8月23日～31日 調査規模：18樹、3,428個
豊水（対照区※）	15.0	設置期間：8月24日～30日 調査規模：100果

対照区設置の様子



※対照区は成熟した果実100果をネットにいれ防蛾灯の影響のない場所に置いて被害を調査した。

◎防蛾灯により無防除（対照区）に比べて吸蛾類の被害を顕著に軽減できた。

◎防虫ネットでは吸蛾類を完全に防除できるが、設置や台風接近時の対応など、多くの労力（人手）が必要となる。防蛾灯では3～6%の被害は発生するものの省力的に設置できる。

◎シンクイガやカメムシには効果が不十分であるため農薬による対応が必要であった。